

観光シーズンと洪水期に向けて、安全に関する取組を行いました

草木ダムでは、本格的な観光シーズンと洪水期を控え、安全に関する取組を行いました。

4月19日（金）に、草木ダム管理所と群馬県渡良瀬発電事務所が合同で、防災操作連絡通知説明会を開催しました。

草木ダムと、渡良瀬発電事務所の管理する黒坂石ダム^{くろさかいし}及び高津戸ダム^{たかつど}は、ともに渡良瀬川に位置していることから、関係自治体、土地改良区、関係事業者の方々に同時にお集まりいただき、洪水時のダムの運用や放流を行う際の通知方法、そのタイミング等について説明しました。

新年度の異動により担当者が替わる機関等も複数あることから、毎年洪水期を迎える前に、この説明会を開催して、関係者全員に確認していただきます。また、関係自治体等には、5月に行う洪水対応演習へのご協力もお願いし、演習を通じて洪水時の対応を万全のものとしていきます。

4月23日（火）には、草木ダム周辺で、一般の方々が利用する施設の安全点検を行いました。この安全点検は、平成14年から毎年行い、今年で18回目となりましたが、地域住民代表の方や、みどり市の職員とともに利用者の立場からの視点で点検を行い、これからの観光シーズンに備えるものです。

今年の安全点検は、ダム周辺から下流域を重点的に行い、ダムの堤頂道路、国道沿いの右岸展望台広場から散策路、ダム下流の水の広場へと歩きながら、ベンチや柵、トイレ、看板など、チェックリストとともに安全を確認して行きました。

草木ダムでは、現在「通常版」のほか「天皇陛下御在位三十年記念」（5/31まで）と「ぐんまプレデスティネーションキャンペーン」（6/30まで）のダムカードを配布しています。大型連休には、新緑に映える美しい景観の草木ダムや草木湖へ是非お越しください。

